

重要なお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、本館関連の催し物について、本コーナーに掲載の情報も含め、急遽、予定を変更する可能性があります。詳細につきましては、決まり次第本館ホームページに掲載いたします。何卒ご理解のほど、お願い申し上げます。

特別展  
「先住民の宝」

世界には、「先住民」と呼ばれる人たちがいます。先住民とはだれか？「宝」にこめられた思いとは何なのか？ 本展覧会では日本のアイヌをはじめ、北欧、カナダ、オーストラリア、中南米、アフリカ、台湾、ネパール、マレーシアなど、世界各地に暮らすそれぞれの「先住民」が大切にしている「宝」を展示します。

会期 10月1日(水)～12月15日(火)  
会場 特別展示館

■関連イベント  
みんなく映画会

「斧は忘れても、木は覚えている」  
日時 10月10日(土) 13時30分～16時30分  
(13時開場)  
会場 本館講堂  
解説 盛田茂東洋大学アジア文化研究所 客員研究員  
司会・解説 信田敏宏(本館 教授)  
※参加には事前申込が必要で、くわしくはみんなくホームページをご覧ください。

ワークショップ  
「ペーパークラフトでトートバッグを作ろう」  
日時 10月31日(土)、11月1日(日)  
13時～15時30分(12時30分受付開始)  
会場 本館くろぎスペース  
講師 田主誠(版画・造形作家)  
対象 岸上伸啓本館教授(併任)  
小学生以上  
(小学3年生以下は保護者同伴)  
※事前申込(先着順)／定員各回22名、参加費300円  
※申込期間 10月1日(木)～定員に達し次第締め切り  
※会場は変更になる場合があります。

ワークショップ  
「アイヌの矢作りと模擬狩猟体験」  
日時 11月7日(土)  
13時30分～15時50分(13時受付開始)  
11月8日(日)  
10時20分～12時40分(10時受付開始)  
会場 特別展示館地下休憩所  
講師 岡田恵介、山道陽輪(公益財団法人 アイヌ民族文化財団職員)  
齋藤玲子(本館 准教授)  
対象 小学4年生以上(小学生は保護者同伴)  
※事前申込(申込者多数の場合は抽選)／定員各回22名、参加費300円、要特別展示観覧券  
※申込期間 10月13日(火)～10月20日(火)  
※会場は変更になる場合があります。

梅棹忠夫生誕100年記念企画展  
「知的生産のフロンティア」  
みんなく初代館長を務めた梅棹忠夫が残したアーカイブス資料とデジタルデータハウスをおして、フィールドワークから著作への「知的生産をくわしく紹介します。このたび、会期を延長して開催する運びとなりました。

みんなくウィークエンド・サロン  
研究者と話をしよう  
会場 第5セミナー室  
※申込不要(当日先着順)／定員各回42名、参加無料(要展示観覧券)  
本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」「調査している地域」「国の最新情報」「みんなくの展示資料」について分かりやすくお話します。  
10月4日(日) 14時30分～15時15分(14時開場)  
カナダ北西海岸先住民文化の歴史と現状  
話者 岸上伸啓(本館 教授(併任))  
10月11日(日) 14時30分～15時(14時開場)  
ネパールの先住民運動  
話者 南真木人(本館 准教授)  
10月18日(日) 14時30分～15時(14時開場)  
オラン・アスリと精霊  
話者 信田敏宏(本館 教授)  
10月25日(日) 14時30分～15時(14時開場)  
旅と映画とマヤ民族  
話者 鈴木紀(本館 教授)

会期 12月1日(火)まで  
会場 本館企画展示場  
みんなく映画会 第49回みんなくワールドシネマ「僕の帰る場所」  
日時 11月7日(土) 13時30分～16時30分  
(13時開場)  
会場 本館講堂  
司会 菅瀬晶子(本館 准教授)  
解説 田村克己(本館 名誉教授)  
※事前申込(先着順)／定員160名、参加無料(要展示観覧券)  
※事前予約の方は入場整理券を当日11時から本館2階講堂前にて配布します。  
【申込方法】  
本人を含む2名まで。定員になり次第受付終了します。

友の会維持会員・正会員(電話先行受付(定員30名))  
期間：10月6日(火)まで  
【申込先】千里文化財団友の会事務局  
電話 06-6877-8893  
(9時～17時、土日祝を除く)  
●一般受付  
期間：10月7日(水)～11月5日(木)  
オンライン予約  
みんなくホームページのイベント予約サイトよりお申し込みください。  
メール・電話予約  
【申込先】千里文化財団イベント予約受付メール yoyaku-event@minpaku.ac.jp  
電話 06-6877-8894  
(9時～16時、土日祝を除く)  
※定員に満たない場合、11時から本館2階講堂前にて当日参加を受け付けます。

公開講演会  
「フアンタジーの挑戦  
——もつとつこの世界を想像しよう」  
「この世界のどこかに穴があいていてその向こうには不思議な世界が広がっている」とい

う感覚」が紡ぐフアンタジーの現代世界での役割とは何か？ その創造の現場から考えます。  
日時 11月6日(金) 18時30分～20時30分  
(開場17時30分)  
会場 日本経済新聞社 大阪本社カンファレンスルーム  
対談 森見登美彦(作家)  
西尾哲夫(本館 教授)  
司会 相島葉月(本館 准教授)  
主催 国立民族学博物館 日本経済新聞社 後援 岩波書店  
※事前申込(先着順)／定員100名、参加無料  
お問い合わせ先  
研究協力課研究協力係  
06-6877-88209

●みんなく無料シャトルバスのご案内  
大阪モノレール「万博記念公園駅」とみんなくとの間の直通送迎バスを特別展「先住民の宝」の会期中に運行します。  
※くわしくはみんなくホームページをご覧ください。

共催展  
「佐々木高明のみた焼畑  
五木村から世界へ——」  
佐々木高明氏(元民博館長の撮影した五木村での焼畑に関する写真を中心に、民具などの資料を含めて当時の村の暮らしを紹介いたします。  
会期 10月3日(土)～11月29日(日)  
会場 五木村歴史文化交流館  
(ヒストリアテラス五木谷)  
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)  
主催 五木村、国立民族学博物館

みんなくセミナー

会場 本館講堂

※事前申込先着順／定員各回160名、参加無料(展示をご覧ください)  
※事前予約の方は入場整理券を当日11時から本館2階講堂前にて配付します。

第503回 10月17日(土) 13時30分～15時(13時開場)  
アイヌ文学の世界——韓・日との比較  
講師 北原モコットウナシ(北海道大学アイヌ・先住民研究センター 准教授)  
齋藤玲子(本館 准教授)

【申込期間】  
●一般受付  
期間：10月15日(木)まで  
※友の会(維持会員・正会員)電話先行受付は終了しました。


第504回 11月21日(土) 13時30分～15時(13時開場)  
ミュージアムが社会を変える——水俣の遺産  
講師 平井京之介(本館 教授)

【申込期間】  
●友の会(維持会員・正会員)電話先行受付  
期間：10月12日(月)～16日(金)  
●一般受付  
期間：10月19日(月)～11月19日(木)

【セミナーの申込方法】  
本人を含む2名まで。定員になり次第受付終了します。右記の該当期間中にお申し込みください。

友の会(維持会員・正会員)電話先行受付(定員30名)  
【申込先】千里文化財団友の会事務局  
電話 06-6877-8893  
(9時～17時、土日祝を除く)

●一般受付  
●オンライン予約(定員100名)  
みんなくホームページのイベント予約サイトよりお申し込みください。  
●当日参加申込(定員30名)  
定員はオンライン予約状況によって変動します。11時から本館2階講堂前にて受け付けます。

刊行物紹介  
■上羽 陽子、山崎 明子 編  
『現代手芸考  
——ものづくりの意味を問い直す』  
フィルムアート社 2,400円(税別)  
なぜ人はものをつくるのか——。文化人類学、ジェンダー研究、美術・工芸史、ファッション研究……さまざまな視点から、いちばん身近なものづくり=「手芸」の輪郭をあぶり出す。「つくる」「教える」「仕分ける」「稼ぐ」「飾る」「つながる」の6つのアプローチで迫る、はじめての手芸論。  


国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (9時～17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716  
https://www.senri-f.or.jp/minpaku\_associates/ E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会

友の会講演会

【聴講方法】

①本館講堂にて聴講(定員160名)  
友の会会員は予約不要(当日会員証提示)  
一般は500円(受付フォームより事前申込)

②オンライン中継での聴講(友の会会員のみ/受付フォームより事前申込)

※受付フォームは友の会ホームページ内にあります。

第505回 10月3日(土) 13時30分～14時40分  
【特別展「先住民の宝」関連】  
トートバッグ——カナダ北西海岸先住民の宝  
講師 岸上伸啓(本館 教授(併任))

北アメリカ北西海岸地域にある先住民の村々には、動物や人間などの姿を彫りこんだ巨大な木柱が、多数立てられています。それらはトートバッグとよばれ、現在ハイダヤクワクワやクワクワなど各民族の宝であり、象徴です。トートバッグとは何か、その歴史の変遷、現在の制作状況とそれに関連するポトラッチ儀礼について解説します。あわせて、みんなくの前庭に立っている新旧2本のトートバッグの制作についても紹介します。

※特別展関連の友の会講演会は、みんなくフリーパスをお持ちの方も無料で聴講いただけます(本催しも該当)。

●受付フォーム https://www.senri-f.or.jp/505form/

第506回 11月14日(土) 13時30分～14時40分  
呪術として生き残った仏教  
——社会主義期モンゴルにおける世俗化・仏教実践・還俗ラマ

講師 島村平(本館 准教授)

ノ連を中心とした旧社会主義国では、無神論が標榜され宗教が抑圧されていたことが知られています。しかし社会主義期、宗教は無くなったのでしょうか。この講演では、かつて社会主義国だったモンゴル国を事例に、社会主義による世俗化は、実は呪術化「だつた」のではないか、という逆説を提示します。モンゴルは、人口の6割ほどがチベット・モンゴル仏教を信じている「仏教国」です。本講演では、モンゴル仏教の現在から過去を見ていきます。

●受付フォーム https://www.senri-f.or.jp/506form/

